STR *STANDARD HORIZON*

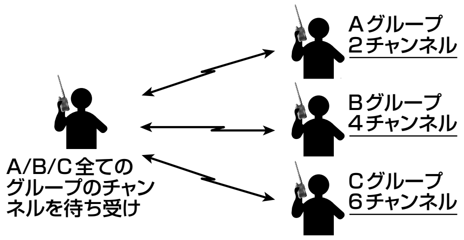
SRS220/SRS210

取扱説明書（応用編）

EN011U050 (2008O-AS)

マルチチャンネル待ち受け機能

複数のチャンネルをスキャンしながら待ち受けを行い、信号が入ったチャンネルで通話を行うことができます。
この機能を使って、グループで異なるチャンネルを使用している状況で、グループの全てのチャンネルをモニターしながら通話を行うことができます。



注意 マルチチャンネル待ち受け中は、オートチャンネルセレクト機能は使用できません。

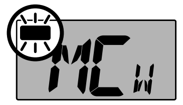
■ 待ち受け受信するチャンネルを決める

待ち受け受信するチャンネルを最大 10 チャンネル登録できます。

1. 待ち受け受信したいチャンネルにあわせます。
   [CUE] ボタンと [▲SET] ボタンを同時に押します。
   待ち受けチャンネルとして登録され、画面左上に“▬”が表示されます。
2. 同じ操作を繰り返して、待ち受け受信したいチャンネル全てを登録します。

補足
- 待ち受け受信の登録をしたチャンネルは、もう一度 [CUE] ボタンと [▲SET] ボタンを同時に押すと登録を解除できます。
- 画面の“▬”が消えます。

■ 待ち受け受信をする



1. 電源を切ります。
2. [🔑▼] ボタンと [CUE] ボタンを押しながら電源を入れます。
   - 待ち受け登録されている全てのチャンネルで信号の待ち受け受信がスタートします。
   - “MCW”が表示され“▬”が点滅します。
3. 信号を受信した時は受信したチャンネルで待ち受けが止まり、相手の話を聞くことができます。チャンネルが表示されている間に PTT（通話）スイッチを押すと送信することができます。

補足 一時的に待ち受け受信したくないチャンネルがあるときは、[🔑▼] または [▲SET] ボタンを押してチャンネルを選び、続けて [CUE] ボタンと [▲SET] ボタンを同時に押すと、一時的に待ち受け受信の対象から外れます。同じ操作を繰り返すか、一度電源を切ると、再び待ち受け受信の対象に戻ります。

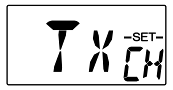
■ 待ち受け受信中の送信チャンネルの変更

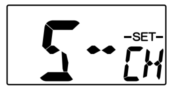
待ち受け受信中に PTT（通話）スイッチを押すと、前回信号を受信したチャンネルで送信しますが、他のチャンネルで送信することもできます。

◎ 待ち受け登録されているチャンネルから選ぶ

1. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して、送信したいチャンネルを選びます。
2. チャンネル表示が“MCW”に変わる前に PTT（通話）スイッチを押すと、選んだチャンネルで送信します。

◎ あらかじめ決めたチャンネルで送信する





1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して “TXCH” の表示にして [CUE] ボタンを押します。“TXCH” が表示されない場合は “SETM” を表示させて “ALL” に設定すると表示されるようになります。
4. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“S-CH”の表示にして [CUE] ボタンを押します。
5. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して “S-CH” の表示にして [CUE] ボタンを押します。
6. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して、送信するチャンネルを選びます。
7. PTT（通話）スイッチを押して終了です。

■ マルチチャンネル待ち受け受信をやめる

1. 電源を切ります。
2. [🔑▼] ボタンと [CUE] ボタンを押しながら電源を入れます。
   マルチチャンネル待ち受け機能が OFF になります。

個別呼び出し機能

個別呼び出し機能では、次の 3 種類の呼び出しができます。

◎ 個別呼び出し
01 ～ 99 の中から、指定した ID に設定している局だけを呼び出します。

◎ グループ呼び出し
10 グループ（グループ ID G0 ～ G9）の中から、指定したグループ ID に設定している局だけを呼び出します。

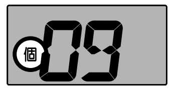
◎ 全局一斉呼び出し（ALL）
全ての局を一斉に呼び出します。

補足
- 着信音を鳴らして呼び出しを知らせることもできます。ただし、全局一斉呼び出し（ALL）の場合アラームはなりません。
- あらかじめ、仲間同士で個別呼び出し ID とグループナンバーを設定してください。
- 電波の弱い場所やノイズの多い場所では、個別呼び出し機能が動作しない場合があります。

注意 個別呼び出しを使用中は、オートチャンネルセレクト機能やサブチャンネルセレクト機能は使用できません。

■ 個別呼び出しを使えるようにする

1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“個 SELC”の表示にします。
   “個 SELC”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。
4. [CUE] ボタンを押します。
5. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して、個別呼び出し機能で運用できる最大局数を選択します。
   20 ：個別コード“01”～“20”までの 20 局
   99 ：個別コード“01”～“99”までの 99 局
   OFF ：個別呼び出し機能は動作しません。
6. PTT（通話）スイッチを押します。
   画面に“**個**”が表示して個別呼び出し機能機能が動作します。

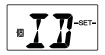


■ 自分の個別 ID やグループ ID を設定する

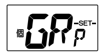
個別呼び出し機能で使用する「自分の個別 ID」と「自分のグループ ID」を設定します。

注意 あらかじめ、上記の“個別呼び出しを使えるようにする”の操作で、“OFF”以外の設定にしてください。

1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“個 ID”または“個 GRP”の表示にします。



：自分の個別 ID を設定する時

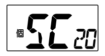


：自分のグループ ID を設定する時

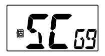
4. [CUE] ボタンを押します。
5. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して個別 ID またはグループ ID を選択します。
6. PTT（通話）スイッチを押して終了です。

■ 個別呼び出しをする

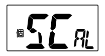
1. [🔑▼] ボタンと [CUE] ボタンを同時に押します。
   画面に“SCAL”が表示されます。
2. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して、呼び出したい相手の個別 ID やグループ ID を選びます。
   全ての局を一斉に呼び出したい時は“AL”を選びます。



：個別 ID“20”の相手を呼び出す時



：グループ ID“G9”のグループ全員を呼び出す時



：全ての局を呼び出す時

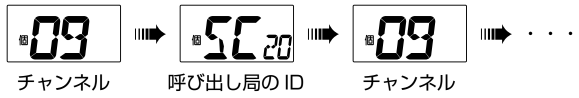
3. PTT（通話）スイッチを押します。
   上記で選んだ相手を呼び出して、通常の画面に戻ります。

■ 個別呼び出しを受けた時の動作

個別呼び出しとグループ呼び出しの場合、画面にチャンネルと呼び出してきた相手の個別 ID またはグループ ID が交互に表示します。

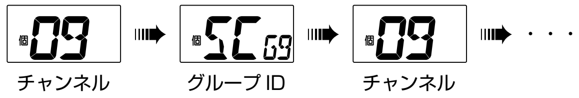
◎ 個別呼び出しを受けた時

チャンネルと呼び出してきた局の個別 ID を交互に表示します。



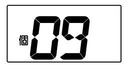
◎ グループ呼び出しを受けた時

チャンネルと呼び出してきたグループ ID を交互に表示します。



◎ 全局一斉呼び出しを受けた時

画面表示はチャンネルのままで、着信音も鳴りません。



呼び出しを受けた後に PTT（通話）スイッチを押すと、通話することができます。

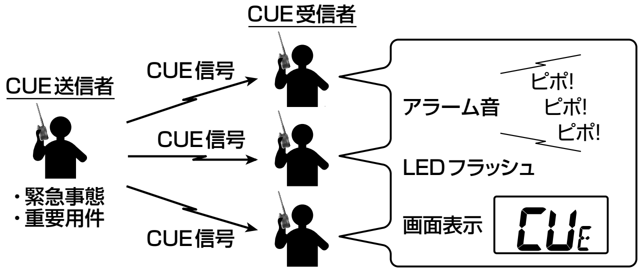
■ 個別呼び出しを受けた時に着信音を鳴らす

個別呼び出しを受けた時に、着信音を鳴らすことができます。

1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“個 BEEP”の表示にします。
4. [CUE] ボタンを押します。
5. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して、着信音を選択します。
   1 / 2 / 3 ：着信音が鳴るパターンを 3 種類から選べます。ALL で呼ばれた時は、着信音は鳴りません。
   OFF ：着信音は鳴らなくなります。
6. PTT（通話）スイッチを押して終了です。

CUE（キュー）機能による緊急アラーム

グループ全員のトランシーバーにアラームを鳴らして、緊急連絡や重要な用件の通知を行うことができます。この機能は受信側の音量ボリュームに関係なく、設定した音量でアラームが鳴り、同時に LED インジケータがオレンジ色で点滅して、画面に“CUE”を表示させますので、相手が音量を下げたまま忘れている場合でも、確実に緊急連絡や重要な用件の通知を行うことができます。CUE を受信した時にトランシーバーの近くにいなかった場合でも、“CUE”の表示と LED インジケータの点滅が継続しますので、戻った時に緊急着信があったことがわかります。



■ CUE を信号を送出する

[CUE] ボタンを短押しすると、CUE 信号を送出します。

■ CUE を信号を受信する

CUE 信号を受信するとアラームが鳴り、画面表示と LED インジケータの点滅で知らせます。

補足
- [CUE] ボタンを長押しすると、CUE 信号を受信してもアラーム音が鳴らなくなります。再度 [CUE] ボタンを長押しすると、アラーム音が鳴るようになります。
- PTT（通話）スイッチを押すと、CUE（キュー）を送信した相手と通話することができます。
- “CUE”の表示と LED インジケータの点滅は、いずれかのボタンを押すと元の状態に戻ります。

注意 イヤホンやヘッドセットを接続していても、トランシーバー本体のスピーカーからアラームが鳴ります。

アラームで緊急を知らせる（エマージェンシー機能）

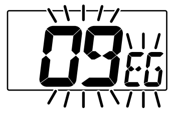
緊急時に最大音量で“ピーッ”とアラーム音を鳴らし続けて周囲に緊急事態を知らせます。

注意
- オートチャンネルセレクト機能が動作中は、エマージェンシー機能は動作しません。
- イヤホンやヘッドセットを接続していても、トランシーバー本体のスピーカーからアラームが鳴ります。

■ エマージェンシー機能を使えるようにする

1. 電源を切ります。
2. [CUE] ボタンと [▲SET] ボタン押しながら電源を入れます。
3. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して、“CU-EC” を選びます。
4. PTT（通話）スイッチを押して終了です。

■ 緊急を知らせる



[CUE] ボタンを 1 秒以上押し続けます。
アラーム音が鳴り続け、画面の表示が点滅します。

補足
- PTT（通話）スイッチを押すとアラーム音を中断して通話することができます。
- [CUE] ボタンを 1 秒以上押すか、電源を切るとエマージェンシー機能の動作は停止します。

■ エマージェンシー機能の動作を変える

アラーム音と同時に自動で送信したり、LED インジケータを点滅させたり、また、緊急連絡用チャンネルに自動で移動することができます。

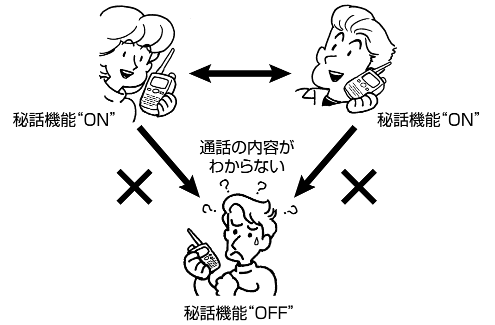
1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“EMGC”の表示にして、[CUE] ボタンを押します。
   “EMGC”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。
4. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押してエマージェンシー機能の動作を選びます。
   ALAM ：緊急アラーム音で緊急を知らせます。
   CH ：アラーム音は鳴らさずに、緊急連絡用チャンネルに自動で切り替わります。

   > **～緊急連絡用チャンネルの設定方法～**
   > 緊急連絡用チャンネルにしたいチャンネルにあわせてから、上記 1. ～の操作を行うと、そのチャンネルが緊急連絡用チャンネルに設定されます。

   CL ：緊急アラーム音を鳴らし、自動的に送信状態になります。
   CL-LT ：緊急アラーム音を鳴らし、自動的に送信状態になり、LED インジケータを点滅表示させます。
5. PTT（通話）スイッチを押して終了です。

秘話機能

秘話機能を設定した仲間同士だけが通話内容を聞くことができます。秘話機能を設定していない人は通話内容を聞くことができなくなります。


秘話機能“ON”
秘話機能“ON”
通話の内容が
わからない
秘話機能“OFF”

1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“秘 SCR”の表示にして、[CUE] ボタンを押します。
   “秘 SCR”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。
4. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“1”または“2”の表示にします。
5. PTT（通話）スイッチを押します。
   画面に“秘”が表示して秘話機能が動作します。

■ 秘話機能をやめる

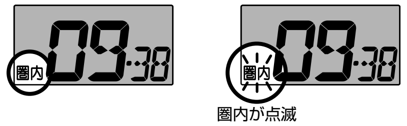
1. 上記と同じ操作を行い、手順 4 で“OFF”の表示にします。
2. PTT（通話）スイッチを押します。
   秘話機能が OFF になります。

仲間と通話可能かを常にチェックする

■ コールバック機能

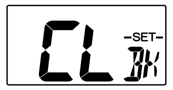
グループモード時にコールバック機能を使用すると、「通話できる範囲にいるか」または「電源を切っていないか」を電子音とアイコン表示で常にチェックしながら通話できます。

注意
- コールバック機能を“ON”にすると、オートチャンネルセレクト機能は使用できません。
- コールバック機能は、中継チャンネルでは動作しません。



通話できる時　　通話できない時

1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“CLBK”の表示にします。
   “CLBK”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。



4. [CUE] ボタンを押します。
5. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“ON”の表示にします。
6. [CUE] ボタンを押します。
7. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“GRP”の表示にします。

8. [CUE] ボタンを押します。
9. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“ON”の表示にします。
10. [CUE] ボタンを押して、続けて [▲SET] ボタンを押します。
11. “GRCD”の表示になりますので [CUE] ボタンを押します。

12. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して、仲間同士で決めたグループコード（GP01 ～ GP50）またはDCS コード（D017 ～ D754）にあわせて [CUE] ボタンを押します。
13. PTT（通話）スイッチを押します。

コールバック機能が動作して、画面に“圏内”が点滅表示します。
相手が通話可能な状態になると“圏内”の点滅が点灯に変わります。

通話可能かどうかは、電子音とディスプレイの表示で確認できます。

状況	電子音	アイコン表示
通話可能 ・相手と通話できる範囲にいる ・相手の電源が入っている	圏内になった時に一度だけ“ピピッ”と鳴る	電子音が鳴った後“圏内”が**点灯**する
通話不可能 ・相手と通話できない場所にいる ・相手の電源が切れている	圏外になった時に一度だけ“プップッ”と鳴る	電子音が鳴った後“圏内”が**点滅**する

補足
- 同じチャンネルで同じグループコードやDCS コードが他の使用者に使われている時は、“グループモードの設定”を参照して、仲間同士で他のグループ番号に切り替えてください。
- 他のグループの人が同じチャンネルを使って通話している時は、音声は聞こえませんが、受信状態になり、通話できません。

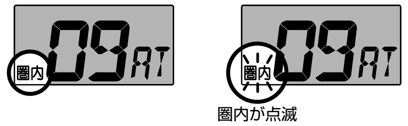
■ コールバック機能をやめる

1. 上記の手順 1 ～ 5 を行い、手順 5 で“OFF”の表示にします。
2. PTT（通話）スイッチを押します。
   コールバック機能が OFF になります。

■ ARTS 機能

ARTS 機能用の 10 種類の DCS コードの中から、使用可能な DCS コードを自動的に選択して「通話できる範囲にいるか」または「電源を切っていないか」を電子音とアイコン表示で常にチェックしながら通話できます。

注意
- ARTS 機能を“ON”にすると、オートチャンネルセレクト機能は使用できません。
- ARTS 機能は、中継チャンネルでは動作しません。

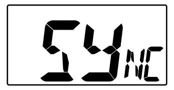


通話できる時　　通話できない時

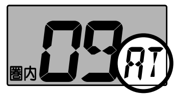
仲間同士の全てのトランシーバーを同じチャンネルにあわせてから、全てのトランシーバーで以下の操作を行います。

1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“ARTS”の表示にします。
   “ARTS”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。

4. [CUE] ボタンを押します。
5. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“ON”の表示にします。
6. PTT（通話）スイッチを押します。
   ARTS 機能が ON になり、画面に“SYNC”が表示されます。



7. **いずれか 1 台**の PTT（通話）スイッチを押します。
   仲間の全てのトランシーバーが自動で使用可能な DCS コードに設定され、チャンネルの右側に“AT”が表示されます。



ARTS 機能が動作して、画面に“圏内”が点滅表示します。
相手が通話可能な状態になると“圏内”の点滅が点灯に変わります。

通話可能かどうかは、電子音とディスプレイの表示で確認できます。

状況	電子音	アイコン表示
通話可能 ・相手と通話できる範囲にいる ・相手の電源が入っている	圏内になった時に一度だけ“ピピッ”と鳴る	電子音が鳴った後“圏内”が**点灯**する
通話不可能 ・相手と通話できない場所にいる ・相手の電源が切れている	圏外になった時に一度だけ“プップッ”と鳴る	電子音が鳴った後“圏内”が**点滅**する

■ ARTS 機能をやめる

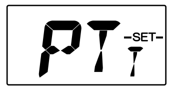
1. 上記の手順 1 ～ 5 を行い、手順 5 で“OFF”の表示にします。
2. PTT（通話）スイッチを押します。
   ARTS 機能が OFF になります。

補足
- 電源を切っても ARTS 機能は OFF になりません。次に電源を入れた時は、前回設定された DCS コードで ARTS 機能が動作します。
- 仲間を追加する時は、上記の“ARTS 機能をやめる”の操作を行い手順 5 で一度 OFF にした後に続けて ON にします。その後手順 6 では PTT（通話）スイッチを押した後 **1 秒以内**に [▲SET] を押してください。

PTT ホールド機能

一度 PTT（通話）スイッチを押すと、再び押すまで送信状態を維持します。

1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“PTT”の表示にします。



4. [CUE] ボタンを押します。
5. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“HOLD”の表示にします。

   NOR　：PTT スイッチを押している間送信状態になります。
   HOLD：一度 PTT スイッチを押すと、再び PTT スイッチを押すまで送信状態を続けます。
   OFF　：PTT スイッチが無効になり送信できません。

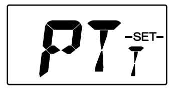
6. PTT（通話）スイッチを押して終了です。

補足 連続して 3 分間送信すると、送信が自動的に停止します。送信が停止する 30 秒前から画面にカウントダウンが表示されます。また、送信が停止する 10 秒前に「ピピッ」と警告音が鳴ります。

受信専用モード（送信禁止）

送信を禁止して受信専用にできます。PTT（通話）スイッチを押しても“ERR”が表示され「プープー」と警告音が鳴り送信できません。

1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“PTT”の表示にします。



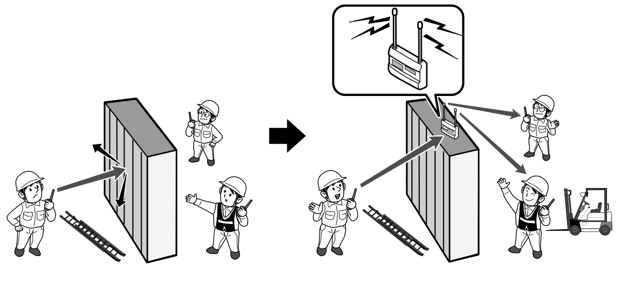
4. [CUE] ボタンを押します。
5. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“OFF”の表示にします。

   NOR　：PTT スイッチを押している間送信状態になります。
   HOLD：一度 PTT スイッチを押すと、再び PTT スイッチを押すまで送信状態を続けます。
   OFF　：PTT スイッチが無効になり送信できません。

6. PTT（通話）スイッチを押して終了です。

通話エリアを拡大する（中継器対応）

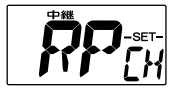
通話相手との間にビルなどの障害物がある場合や相手との距離が離れている場合など、電波が届かずに通話できない時は、本機対応の中継器を中間点に設置することで、通話エリアを広げることができます。
使用できる中継器については、本機を購入した販売店、または当社国内営業部にお問い合わせください。



注意 中継チャンネルを使用中は、オートチャンネルセレクト機能は使用できません。

■ 中継機能を使えるようにする

1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“RPCH”の表示にします。
   “RPCH”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。



4. [CUE] ボタンを押します。
5. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“ON”の表示にします。
6. PTT（通話）スイッチを押します。
   中継機能用のチャンネル（10 ～ 18、12 ～ 29）が使えるようになります。

1 ～ 9 通常の通話用 ➠ 10 ～ 18 **＜中継用＞** ➠ 01 ～ 11 通常の通話用 ➠ 12 ～ 29 **＜中継用＞**

■ 通話のしかた

1. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して、中継器と同じチャンネル番号にあわせます。
2. “基本的な通話のしかた”と同様に通話します。

補足
- グループモードを使用することができます（中継器と同じグループ番号にあわせます）。
- 当社指定の中継器のみ使用可能です。

■ 中継器を使わない設定に戻す

1. 上記の「中継器を使えるようにする」と同じ操作を行い、手順 5 で“OFF”の表示にします。
2. PTT（通話）スイッチを押します。
   以上で、中継器を使わない（中継器用のチャンネルを表示しない）ようになります。

モニター機能

相手の電波が弱くて音声が途切れ途切れに聞こえる場合“モニター機能”を使用すると、相手の音声が聞きやすくなる場合があります。

1. 電源を切ります。
2. [🔑▼] と [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
   - モニター機能が動作します。
   - 信号が無い時は常に“ザー”という雑音が聞こえます。
3. 電源を切るとモニター機能は解除されます。

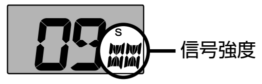
Radio Communication Solutions
J・E 株式会社ジャパンエニックス
JAPAN ENIX CO.,LTD.

□ 本　　社　東京都品川区南品川 2-7-18　TEL 03-5715-2351
□ 関西支店　大阪市西区千代崎 1-24-11　TEL 06-6583-7700
□ 札幌営業所　札幌市東区苗穂町 3-4-18　TEL 011-733-6120
□ 仙台営業所　仙台市若林区白萩町37-25　TEL 022-290-9381
□ 名古屋営業所　名古屋市東区葵2-3-15　TEL 052-908-1440
□ 九州営業所　福岡市博多区豊 1-10-50　TEL 092-432-9077

[CUE] ボタンの機能を変える

[CUE] ボタンには、緊急連絡や重要な用件の通知を行う“CUE 機能”が割り当てられていますが、その他の機能に変更することができます。

1. 電源を切ります。
2. [CUE] ボタンと [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して、割り当てたい機能の表示にします。

表示	機能	
	短押し	長押し
	CUE 信号を送出して、グループ全員のトランシーバーにアラームを鳴らして緊急連絡を通知します。	CUE 信号を受信した時に鳴るアラーム音を一時的に鳴らないようにできます。
	DCS コードを設定している場合、呼び出し音を鳴らして相手を呼び出します。	エマージェンシー機能が動作してアラーム音を鳴らして緊急事態を知らせます。
	相手の電波が弱くて音声が途切れ途切れに聞こえる場合、[CUE] ボタンを押している間、相手の音声が聞きやすくなる場合があります。 同時に信号強度を表示（S メーター）します。 信号が無い時は“ザー”という雑音が聞こえます。 	
	受信中の音声を 3 分間ミュート（消音）します。	再び [CUE] ボタンを長押しするまで受信中の音声をミュート（消音）します。
	VOX 機能を一時的に ON/OFF します。 あらかじめセットモード“VOX”を ON にしてください。[CUE] ボタンを押して OFF にすると“－”が表示されます。 	長押しで動作する機能はありません
	マルチチャンネル待受受信時に、あらかじめ決めておいたチャンネル（セットモード“S-CH”で設定したチャンネル）で送信します。	
	コールサイン（電子音）を送出します。 電子音をセットモード“CLSG”で設定した回数鳴らして相手を呼び出します。	

4. PTT（通話）スイッチを押して終了です。

信号を探す（スキャン機能）

自動でチャンネルを切り替えながら信号を探す機能です。グループモード使用時は、同じグループコードを含む信号を探します。
信号を受信するとスキャンが一時停止します。また、信号がなくなると約 10 秒後に再びスキャンを開始します。

注意 スキャン機能を“ON”にすると、オートチャンネルセレクト機能は“OFF”になります。

1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“SCAN”の表示にして、[CUE] ボタンを押します。
   “SCAN”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。

4. [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押して“ON”の表示にします。

   ON　：スキャン機能を ON にします。
   OFF：スキャン機能を OFF にします。

5. PTT（通話）スイッチを押して終了です。

■ スキャンを開始する

[🔑▼] ボタンを 1 秒以上押す：チャンネル番号の小さい方向にスキャン
[▲SET] ボタンを 1 秒以上押す：チャンネル番号の大きい方向にスキャン

補足
- 中継機能用チャンネルでスキャンを開始すると、中継機能用チャンネルだけをスキャンします。通常チャンネルでスキャンを開始すると、通常チャンネルだけをスキャンします。
- スキャン中に [🔑▼] または [▲SET] ボタンを押すと、スキャンする方向が変わります。

■ スキャンをやめる

PTT（通話）スイッチまたは [CUE] ボタンを押すとスキャンが停止します。